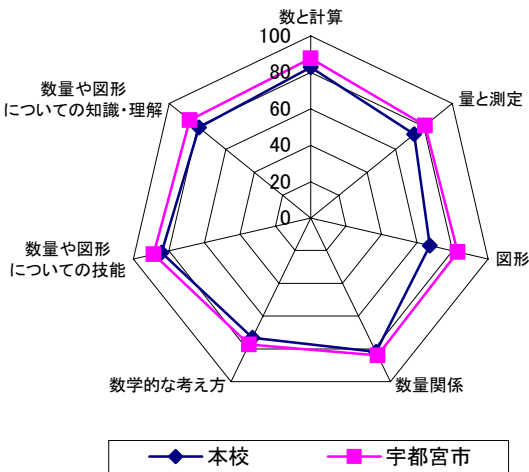


宇都宮市立宝木小学校第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	82.8	87.6
	量と測定	73.1	80.6
	図形	67.1	82.9
	数量関係	81.8	83.8
観点別	数学的な考え方	73.2	77.3
	数量や図形についての技能	84.0	88.6
	数量や図形についての知識・理解	78.8	85.5



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (82.8%)	・平均正答率は市をやや下回っている。わり算・小数・億と兆・がい数の表し方共に市平均を約5ポイント下回っている。個人別の得点を見てみると二極化が進んでいる。	・わり算については、あまりを出す問題の正答率が低い。小数については、小数のたし算・ひき算でつまづいている児童がいる。これは、横式を筆算に直す時、小数点の位置を間違っただと思われる。教科書の問題をノートにもう一度やらせたい。
量と測定 (73.1%)	・平均正答率は市をやや下回っている。面積については、市平均を5ポイント下回っているが、個人別の得点を見てみると、100%できている児童が多い。ただ、問題数が少ないため、間違えると得点率が下がってしまうということが見られた。角の大きさについては、市平均を10ポイント下回っていた。この問題は図形と関わりが大きいので、図形同様得点率が低い。	・面積の本校正答率は76.2%とだいたいできているが、角の大きさが55.2%と著しく低い。この領域は「図形」と関連が深いので、個別指導していきたい。
図形 (67.1%)	・平均正答率は、市を大幅に下回っている。垂直・平行について問われたものだが、理解度が低い。	・問題数も少ないが、要となる問題なので徹底指導する必要がある。今後、垂直や平行について、理解させたり、描かせたりしながら個別指導をていねいに行いたい。
数量関係 (81.8%)	・市平均とほぼ同じである。式と計算・折れ線グラフ・整理のしかた共に正答率100%の児童が多い。この領域は3年生の時よりも本校平均5ポイントアップしている。	・本校平均は式と計算75.9%、折れ線グラフ84.4%、整理のしかた86.7%と安定している。総合的な復習問題を与え、復習させたい。